

第5回「中国地方の防災に関する連絡会」を開催

－防災関係機関が連携し災害対策を効果的に実施するために－

◆連絡会の目的

広域かつ大規模な災害時に中国地方を管轄する防災関係機関が連携し、災害対策を効果的に実施できるよう、平常時から情報共有、施策の連携・調整を行い、国民の生命、身体及び財産の保護に資することを目的とし、平成24年3月7日に設立。

◆第5回連絡会の概要

日時：平成28年1月15日（金）14時～16時
場所：KKRホテル広島 1階孔雀（広島市中区東白島町19-65）
出席者：51機関の災害対応の責任者が出席（随行者等を含め約90名が出席）

- ＜国の機関＞
 - ・中国管区警察局、中国総合通信局、中国四国農政局、中国経済産業局、中国四国産業保安監督部、中国四国地方環境事務所、中国四国防衛局、陸上自衛隊第十三旅団、海上自衛隊呉地方総監部、中国地方整備局、中国運輸局、大阪航空局、中国地方測量部、福岡管区気象台、広島地方気象台、第六管区海上保安本部、第七管区海上保安本部
- ＜地方自治体＞
 - ・中国5県2政令市
- ＜公共機関＞
 - ・道路、電力、通信、運輸、ガス、石油関連の公社、会社、協会、連合会

＜第5回連絡会の論点＞

- 大規模災害における各機関の対応
- 複数機関による連携訓練の実施状況及び今後の予定
- 南海トラフ巨大地震における防災・災害対策における連携方策
- 防災に係わる最近の話題

＜議事内容＞

- **大規模災害における各機関の対応**
○広域的な災害支援を視野に入れ、中国地方の防災体制の強化を図るため、各機関の取り組み状況を紹介し、情報を共有した。
- **複数機関による連携訓練の実施状況及び今後の予定**
○中国地方において、複数機関が連携した訓練の実施状況及び今後の実施予定について情報共有し、相互参加を呼びかけた。
- **南海トラフ巨大地震における防災・災害対策における連携方策**
○南海トラフ巨大地震を踏まえた各機関間の連携方策について、広島市をモデルケースとしてグループワークを実施していることを報告した。共通テーマ「被災情報の共有」では、関連するグループ毎に、災害時応急活動内容と時期の整理・共有に取り組んでいる。個別テーマ「総合啓開（陸上・海上）」では、道路・航路啓開の基本方針検討、「ライフラインの復旧」では、復旧方針と連携による効率化の可能性について取り組んでいる。
- **防災に係わる最近の話題**
○「みんなで減災」県民総ぐるみ運動、防災教育の取り組みについて紹介した。



開会の挨拶（中国地方整備局長）
「災害が発生したときに迅速・的確な対応を可能とするには、各機関が如何に被災地域で連携できるかが重要となります。」



閉会の挨拶（中国運輸局長）
「関係機関の対応と連携方策について有意義な意見交換が行われました。引き続き、情報共有、連携の推進により、防災能力の更なる向上を図っていただきたい。」



意見交換の様子

広域かつ大規模な災害に対し、被害の拡大防止、効率的な復旧に向けて、本連絡会参加者で連携を強化していきましょう。

（株）NTTドコモ中国支社



災害時用に開発された「船舶マッチングシステム」をぜひ訓練などで活用したい。

（一社）中国旅客船協会



➤ 今後、中国地方の総合的な災害対応力の向上のためには、南海トラフ巨大地震対策として検討した連携方法や手順を共有・ブラッシュアップし、連携の強化、実効性向上を図ることが必要である。